

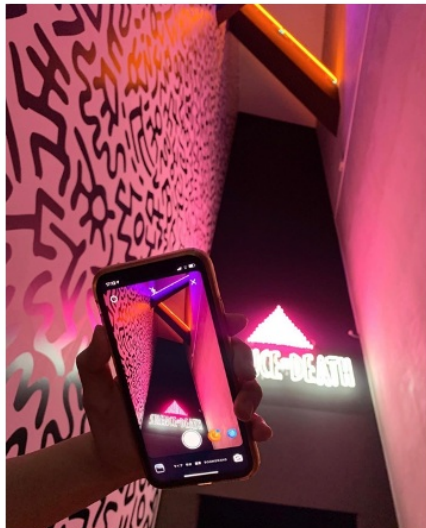
#おうち時間でアートを楽しもう！

～没後30年企画展「Keith Haring: Endless」 インスタグラムライブ配信～

【5月4日・5日 両日14:00～】Instagramでキース・ヘリングのアートをライブ配信！

中村キース・ヘリング美術館（山梨県北杜市）は、5月4日（月）に企画展「Keith Haring: Endless」をInstagramライブ配信にてご紹介いたします。本企画は5月1日に実施したライブ配信内容につづくもので、企画展紹介の後編となります。当館学芸員が、実際に館内を歩いて作品を映しながら解説いたします。Instagram上ではコメントや質問も受け、リアルタイムで視聴者の疑問にお答えします。当日は、キース・ヘリングの生誕日を記念してオンラインショップの特別セールも開催いたします。（<https://nakamurakeithharingcollection.com/>）

また、5月5日（火）は「こどもの日」にちなみ、子どもたちを対象とした企画「おうちでミュージアム」（ギャラリーツアーを予定）を配信いたします。キース・ヘリングは生前、子どもたちのために多くのワークショップを開催し、子どもの創造性を育むことを大切にしていました。本企画ではその遺志を受け継ぎ、ヘリングの作品を学芸員が子ども向けに解説する内容となります。



【配信日時・視聴方法】

- ① 5月4日(月) 14:00～ライブ配信 企画展「Keith Haring: Endless」紹介（1時間程予定）
- ② 5月5日(火) 14:00～ライブ配信 子ども向け企画「おうちでミュージアム」（1時間程予定）

視聴方法：当館公式Instagramより → @nakamurakeithharingcollection

URL: <https://www.instagram.com/nakamurakeithharingcollection/>

【展覧会概要】

没後30年企画展「Keith Haring: Endless」 会期 2020年2月22日～2021年1月11日*

1990年2月16日にエイズによる合併症のため31歳の若さでこの世を去ったキース・ヘリング。没後30年を迎えた今もなお世界中で絶えず展覧会が開催され、ファッション、社会活動、エンターテインメントなど多様な場面で作品が起用されています。本展では、生死を凌駕して増幅し続けるヘリングの藝術の力に迫ります。

(*政府の緊急事態宣言を受けて現在一時休館中)



My Town, 1987, Tama City Cultural Foundation



Untitled, 1988



Untitled (Self-Portrait), 1988

All Keith Haring Artwork © Keith Haring Foundation Courtesy of Nakamura Keith Haring Collection.

■キース・ヘリング (1958-1990)

1980年代のアメリカ美術を代表するアーティスト。ニューヨークの地下鉄構内の広告板を使った《サブウェイ・ドローイング》というグラフィティ・アートで一躍脚光を浴びる。絵画や彫刻、アニメーション、舞台デザイン、壁画、ポスター、レコード・カバーのデザインやグッズを販売する《ポップショップ》に至るまで、制作活動は多岐に渡る。世界中の子ども達とのワークショップを開催するなど社会的なプロジェクトも多く手がけた。1988年にAIDSと診断され、翌年に恵まれない子ども達への基金やHIV・AIDS予防啓発運動を継承していくための財団を設立。1990年31歳で亡くなるまで、アートを通して社会活動にも積極的に関わった。

当プレスリリースURL

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000031.000022359.html>

中村キース・ヘリング美術館のプレスリリース一覧

https://prtimes.jp/main/html/searchlp/company_id/22359